

久多 〈中世の自治と信仰〉



久多荘境に掲げられた貞治4年(1365)の幕府禁制札
(木札の中央上部には釘穴が残る)

久多は左京区の最北端に位置する集落で、昭和二十四年（一九四九）京都市に編入されて、左京区久多となりました。四方を山に囲まれた山間地域ですがその歴史は古く、今も中世村落の面影を残しています。久多が史料上に現れるのは平安時代後期からですが、詳しいことがわかってくるのは、鎌倉時代以降です。

久多は久多本荘と久多大見荘から成立しており、「十人百姓」と呼ばれる上層農民が存在していて、「公文」と称する役の者とともに村落行政を担っていました。やがて「久多荘拾名田地」といった名が出現します。その十名とは十人百姓の系譜を引く者たちと考えられます。岩淵・木戸・和田・西田・大屋・糶田・高瀬・清三郎・伊藤次・河井の十名で、彼らは荘園内において名主としての地位を保っていました。

このような自治機能をもった久多であったが故でしょうか、隣村の葛川（滋賀県大津市）と長きにわたって境争論におよびました。鎌倉時代末期には足利家領となり、室町時代中頃には醍醐寺三宝院（伏見区）の寺領となりました。ちなみに長祿三年（一四五九）の久多荘の棟数は、一四五であったことがわかって



志古淵神社

います。下って織田信長は、朽木氏（滋賀県高島市）に久多荘
代官職を与えました。江戸時代以降も旗本朽木氏の配下となり
ました。

久多荘住民の長い歴史のなかで忘れてはならないのは、志古淵
神社の信仰です。志古淵の神は安曇川流域開拓の祖神といわれ、
筏乗りの神（水の神）としても崇敬されてきました。久多村を
貫流する久多川は安曇川の支流で、村の中央には志古淵神社（京
都市指定文化財）が鎮座します。「安曇川流域七シコフチ」の一
社で、本社に奉納される久多花笠踊（重要無形民俗文化財）は、
室町時代に流行した風流踊の形態を良く残しています。古来、志
古淵神社には厳格なる宮座（祭祀の組織）が存在し、そのなか
で祭礼や村政が決められていました。近年は過疎化もあって旧
態を維持することが難いため、特に花笠踊は可能な限りの範
囲で伝承されています。燈籠踊とも呼ばれるこの祭りは、各町
が造花で飾った精巧な燈籠を頭にいただき（現在は手持ち）、太
鼓の音に合わせて踊ります。長年にわたる久多の人々の精神的
紐帯とは、まさに志古淵神社の信仰にあったと思われる。久
多には多くの中世文書が残っており、中世的雰囲気を残す境内
一帯は、京都市文化財環境保全地区に指定されています。訪れ
てみたい中世の集落です。

あとがき

去る平成二十四年二月、左京区役所から市民しんぶん左京区版「左京ボイス」に、左京の歴史に関するコラム連載の依頼を受けました。当初の計画では、一年間で全八回分の執筆というものでした。しかしこの広大な左京区域を限られた字数で、しかもたった六回のみで完結することは大変難しいことだと感じましたので、各集落ごとに焦点を当てた記述方法を選びました。そして結果として、本書のような体裁となりました。

ところでいざ連載を始めると、かなりしんどい仕事であることがわかりました。隔月の掲載でしたが、取材や写真データの取得に凝りだしはじめたものですから、このコラムのことが片時も頭から離れたことはありませんでした。かくして執筆開始から終了まで、なんと四年もの歳月が流れました。これだけ長期にわたって、よくも連載していただけたものだと、心より感謝しています。

私自身、左京区は好きな地域ですが、このような機会がなければ接することができなかった事柄が、いっぱいありました。現地に足を運び、地元の方々と話を交わしていると、新たな発見が次々と生まれます。京都という地のすばらしさに改めて感激しましたし、また非常に勉強できました。

さてこのたびの出版に際しましては、もう一度原稿を読み直して編集し、写真も倍に増やして、わかりやすい構成内容にいたしました。気軽に興味のあるところから読んでいただけましたら幸いです。

最後になりましたが、本書出版につきましては、取材に快く応じてくださった各地区の皆様、掲載や企画全般については左京区役所の歴代ご担当の方々、そして印刷・出版については山代印刷株式会社代表取締役社長の山代晃義様、さらに本書表紙にすばらしい作品をご提供くださいました切り絵作家の望月めぐみ様に対しまして、心より深甚の謝意を表すところです。

平成二十八年十一月

宇野 日出生

宇野日出生（うのひでお）

1955年滋賀県生まれ。

國學院大學大学院文学研究科日本史学専攻修了。

現在、京都市歴史資料館主任として勤務。

主要著書に『上賀茂のもり・やしろ・まつり』（共編著、思文閣出版、2006）、『八瀬童子－歴史と文化－』（思文閣出版、2007、日本図書館協会選定図書）、『神社継承の制度史』（共編著、思文閣出版、2009）、『京都 町家の老舗』（宮帯出版社、2014）、『京都 実相院門跡』（編著、思文閣出版、2016）などがある。

京都 左京 あゆみとくらし

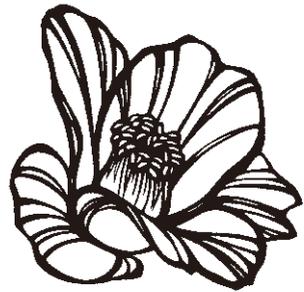
2016年11月1日 初版第1刷発行

著者：宇野日出生

発行者：京都市左京区役所 地域力推進室
TEL：075-702-1021

京都市印刷物 第283088号

印刷所：山代印刷株式会社



京都市
CITY OF KYOTO

ISBN978-4-9904207-6-5 C0039 ¥00000E

